

施設整備計画

都道府県名	千葉県
市町村名	流山市

- 1 計画名称 流山市公立学校等施設整備計画
- 2 計画作成主体 流山市
- 3 計画期間 平成18年度 ~ 平成20年度

4 域内の公立の義務教育諸学校等施設の整備状況について

保有校数及び耐震化の状況等 (H18.4.1現在)

保有校等	域内全棟数(a)	(a)のうちS56年以前に建設された棟(b)		耐震診断実施率	うち耐震性のある棟	うち耐震性の無い棟
		棟数	棟			
小学校	15 校	68 棟	51 棟	96.1 %	3 棟	48 棟
中学校	8 校	50 棟	33 棟	97.0 %	5 棟	28 棟
高等学校	- 校	- 棟	- 棟	- %	- 棟	- 棟
特殊教育諸学校	- 校	- 棟	- 棟	- %	- 棟	- 棟
幼稚園	2 校	6 棟	6 棟	0.0 %	- 棟	- 棟
学校給食施設						
単独校調理場	14 箇所					
共同調理場	5 箇所					
スポーツ施設						
学校水泳プール	23 箇所					
学校武道場	7 箇所					
社会体育施設	11 箇所					

その他、特記すべき状況・課題

本市では、つくばエクスプレス沿線整備事業に伴う新しいまちづくりによる大幅な人口の増加が見込まれ、時期としては未定であるが、小・中学校各1校の新設を予定している。また、当該事業の中で、小学校1校が移転新築を余儀なくされ、平成21年4月開校を目指し、現在PFI事業として進めているところである。

5 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標について

耐震性の確保を図る整備

平成16年度に耐震診断の対象となる建物の診断が全て終了し、小中学校校舎等84棟中、76棟の耐震性が無いことが確認されたため、平成17年度に平成18年度から平成23年度までに耐震化する「学校建築物耐震補強計画」を作成し、実施中である。本計画期間内に小学校19棟(校舎16棟、屋体3棟)、中学校6棟(校舎3棟、屋体3棟)、合計25棟について耐震補強を実施し、計画どおりに耐震化率を小学校57.4%、中学校56.0%、併せて56.8%とする。25棟中、24棟については、耐震補強を実施し、江戸川台小学校の1棟については、耐震診断の結果Is値が0.3未満であり、他の校舎との取り合い等、耐震補強が困難であるため不適格改築事業により耐震化を図ることとする。

(目標耐震化率の設定)

学校区分	計画期間中に耐震化を図る棟数		耐震化事業実施による耐震化率の目標(%)		
		うち補強	うち改築	(現状)	(目標)
小学校	19棟	18棟	1棟	29.4	57.4
中学校	6棟	6棟	0棟	44.0	56.0
高等学校	-棟	-棟	-棟		
特殊教育諸学校	-棟	-棟	-棟		
幼稚園	-棟	-棟	-棟		

防犯対策など安全性の確保を図る整備

教育環境の質的な向上を図る整備

流山小学校校舎(昭和53・54年建築)、屋体(昭和54年建築)、東深井小学校校舎(昭和61年建築)、屋体(昭和51年建築)、鱈ヶ崎小学校校舎(昭和49、51年建築)、向小金小学校校舎(昭和51年建築)、東深井中学校屋体(昭和52年建築)、南部中学校屋体(昭和50年建築)、東部中学校屋体(昭和45年建築)については、大規模改造事業(トイレ改造)を行い、老朽化によるトイレの3K(臭い、汚い、暗い)を改善するとともに、東部中学校屋体ではトイレ改造とあわせて、大規模改造事業(老朽)により、内外装の改修工事を実施し、教育施設の環境改善及び機能の充実を図る。

施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

本市では、つくばエクスプレス沿線整備事業に伴う新しいまちづくりを実施中であり、当該事業の中で、小山小学校が移転新築を余儀なくされ、校舎、屋内運動場はもとより、ドライシステムに対応した単独校調理場及び学校水泳プール(屋外)をPFI事業で平成20年度申請予定負担事業として建設する。

6 5の目標を達成するために必要な整備事業について

(様式2、3)

7 5の目標に対して行う事後評価について

本計画期間経過後、目標の達成について計測し、変更等の必要、不必要を検討する。また、毎年、実施状況については、ホームページにおいて公表する。